

海外調査報告

パラグアイにおける野鳥による野菜被害

5. 加害鳥について

外間 数男・フアナ カバゼーロ¹⁾

(元 JICA パラグアイ事務所, ¹⁾ パラグアイ農牧省農業普及局)

Kazuo HOKAMA and Juana B. CABALLERO: Daños causados por pájaros en hortalizas en Paraguay. (5) Pájaros que causa daño de las hortalizas en Paraguay.

要約

今回確認した野菜の加害鳥はハイイロイカル *Saltator coerulescens*, ハイガシラソライロフウキンチョウ *Thraupis sayaca*, キバラツグミ *Turdus amaurochalinus*, ナンベイコマツグミ *Turdus rufiventris* の4種である。またイチゴ生産農家の聞き取り調査では、キバラオオタイランチョウ *Pitangus sulphuratus*, マミジロマネシツグミ *Mimus saturninus*, テリバネコウウチョウ *Molothrus bonariensis*, コウカンチョウ *Paroaria coronata*, クロガミンコ *Nandayus nenday*, ハシブトルリハシインコ *Forpus xanthopterygius*, オキナインコ *Myiopsitta monachus* など7種が加害鳥とされた。

はじめに

パラグアイでは冬春期に野鳥による野菜加害が頻発する。被害は葉菜類から果菜類に及び、11科25種の野菜で被害が確認された(外間ら, 2009)。被害株は樹木に近接する圃場の端に集中した(外間ら, 2010)。しかし野菜を加害する野鳥の種類は未確認であった。

調査地では、野菜の加害鳥として数種知られ、また加害の現場を目撃していたが、種の同定には至らなかった。また調査地及び現地生産者は、数種野鳥の加害を目視し、種類まで認識されて

いる。しかしその詳細な報告はない。

今回、野菜を加害する野鳥の種類を明らかにしたので、その概要を報告する。

調査方法

加害鳥の調査は現地及び生産者への聞き取りで行った。現地における加害鳥調査はサンロレンソ市のアスンシオン大学農学部台湾支援農場で行い、聞き取り調査はセントラル県ピラジューで行った。

加害鳥の調査は2010年6月から8月にかけて適宜行った。調査は目視及び双眼鏡で確認し、カメラ収録した。また同農場の関係者にも聞き取り調査を行った。

現地聞き取り調査は2010年8月21日にイチゴ生産農家を対象として行った。調査対象数は5人であった。

結果

1. 加害鳥の調査

今回確認した野菜の加害鳥は次の4種である。

1) ハイイロイカル *Saltator coerulescens* (図1)

スズメ目 (Passeriformes), ホオジロ科 (Emberizidae) に属する体長20cmの中小型鳥。スペイン語では Pepitero gris, グアラニー語



図1. ハイロイカル。
Figura 1. *Saltator coerulescens*.

では *Havía tyvyta* と呼ばれる。英名は Grayish saltator である (A.G.P, 2005)。

メキシコからチリを除く中南米全域に分布する。パラグアイ全域に分布し、森林や乾性灌木、サバンナ、防風林、水辺の原野等で単独、つがいでみることができる。また村落近辺の藪にも生息する (A.G.P, 2005 ; Canevari ら, 1991 ; Elsam, 2006 ; Narosky ・ Yzurieta, 2006)。果実、花卉、葉、種子を摂食する (Elsam, 2006)。

調査地のアスンシオン大学農場では、イチゴ果実及びブロッコリーの葉を加害していた (図1)。またキャベツ畑沿いのアメリカイヌホウズキ (*Solanum americanum*) の葉を摂食することがあった (図2)。



図2. アメリカイヌホウズキの葉を摂食するハイロイカル *Saltator coerulescens*。
Figura 2. *Saltator coerulescens* esta comiendo las hojas de *Solanum americanum*.

2) ハイガシラソライロフウキンチョウ *Thraupis sayaca* (図3)



図3. ハイガシラソライロフウキンチョウ。
Figura 3. *Thraupis sayaca*.

スズメ目 (Passeriformes), ホオジロ科 (Emberizidae) に属する体長15-17cmの小型鳥。スペイン語では Celestino, グアラニー語では Sail hovy, Chovy, Celestino と呼ばれる。英名は Sayaca tanager である (A.G.P, 2005)。

コロンビアからアルゼンチンまで南米全域に分布する。パラグアイ全域に分布する留鳥で、湿潤灌木林、サバンナ、ヤシ林、防風林などで単独、つがいで見られ、しばしば群れをなすことがある。また街路や庭園、村落近辺にも生息する (A.G.P, 2005 ; Canevari ら, 1991 ; Elsam, 2006 ; Narosky ・ Yzurieta, 2006)。基本的には果実食であるが、家庭の生ごみ、花、発芽した芽、昆虫などを摂食する (Elsam, 2006)。

調査地では、ブロッコリー及びピーマンの葉を加害するのを確認した。6月12日と19日には集団でのブロッコリー加害が見られた。群れは20羽以上におよび、フェンス沿いの高木を往復し加害を繰り返していた (図4)。



図4. 群れでブロッコリーを加害するハイガシラ
ソライロフウキンチョウ *Thraupis sayaca*.
Figura 4. Bandada de pajaros (*Thraupis sayaca*)
están comiendo las hojas de brocoli.

3) キバラツグミ *Turdus amaurochalinus*
(図5)



図5. キバラツグミ.
Figura 5. *Turdus amaurochalinus*.

スズメ目 (Passeriformes), ツグミ科 (Turdidae) に属する体長21-23cmの中小型鳥。スペイン語では *Zorzal mandioca*, グアラニー語では *Korochire*, *Havía korochire* と呼ばれる。英名は Creamy-bellied Thrush である (A.G.P, 2005)。

ブラジル南および西部, パラグアイ, アルゼンチン北部, 中央部, ウルグアイ, ペルーに分布する。パラグアイ全土に分布し, 森林や湿潤,

乾性な灌木, 防風林, 都市近郊, 村落近辺に単独, つがいで見られ, 小グループの群れをなすことがある。(A.G.P, 2005; Canevariら, 1991; Elsam, 2006; Narosky・Yzurieta, 2006)。果実, 昆虫類を摂食する (Elsam, 2006)。

調査地では, イチゴ果実を摂食加害していた。

4) ナンベイコマツグミ *Turdus rufiventris*
(図6)



図6. ナンベイコマツグミ.
Figura 6. *Turdus rufiventris*.

スズメ目 (Passeriformes), ツグミ科 (Turdidae) に属する体長23-25cmの中型鳥。スペイン語では *Zorzal colorado*, グアラニー語では *Korochire*, *Havía pyta*, と呼ばれる。英名は Rufous-bellied Thrush である (A.G.P, 2005)。

ボリビアからブラジル, パラグアイ, アルゼンチン, ウルグアイに分布する。パラグアイ全土に分布し, 森林や湿潤, 乾性灌木, 防風林, 都市近郊, 村落近辺に単独, つがいで見られる。(A.G.P, 2005; Canevariら, 1991; Elsam, 2006; Narosky・Yzurieta, 2006)。果実, 種子, ミミズ, 昆虫類を摂食する (Elsam, 2006)。

調査地では, イチゴの果実を摂食加害していた。

2. 聞き取りによる加害鳥の調査

生産地農家などの聞き取り調査から次の7種が加害鳥とされた。

1) キバラオオタイランチョウ *Pitangus sulphuratus*

スズメ目 (Passeriformes), タイランチョウ科 (Tyrannidae) に属する体長20-24cmの中小型鳥。スペイン語では Pitogué, Pitangua, グアラニー語では Pitogue, Pitangua, Pitogué と呼ばれる。英名は Boat-billed Flycatcher, Great kiskadee である (A.G.P, 2005)。

北アメリカからアルゼンチン南部まで分布する。パラグアイでは全域に分布し、乾性灌木、雑木林、湿地、都市近郊、村落近辺に単独、つがいで見られる。(A.G.P, 2005; Canevari ら, 1991; Elsam, 2006; Narosky・Yzurieta, 2006)。昆虫類、小魚、オタマジャクシ、家庭の生ごみを摂食する (Elsam, 2006)。

イチゴ農家の調査では果実摂食を聞き取りした。

2) マミジロマネシツグミ *Mimus saturninus*

スズメ目 (Passeriformes), マネシツグミ科 (Mimidae) に属する体長25-26cmの中型鳥。スペイン語では Calandria, グアラニー語では Guyra ñe'engatu と呼ばれる。英名は Chalk-browed Mockingbird である (A.G.P, 2005)。

ブラジル、ボリビア、アルゼンチン、ウルグアイに分布する。パラグアイでは全域に分布し、牧草地、小灌木の茂み、乾性地の藪、村落近辺に単独、つがいで見られる。(A.G.P, 2005; Canevari ら, 1991; Elsam, 2006; Narosky・Yzurieta, 2006)。基本的に昆虫食であるが、果実を摂食することもある (Elsam, 2006)。

イチゴ生産農家からは果実の摂食加害を聞き取りした。

3) テリバネコウウチヨウ *Molothrus bonariensis*

スズメ目 (Passeriformes), ムクドリモドキ科 (Icteridae) に属する体長18-22cmの中小型鳥。スペイン語では Tordo renegrado, グアラニー語では Guyrau と呼ばれる。英名は Shiny Cowbird である (A.G.P, 2005)。

パナマ、トリニダード・トバコからアルゼンチンまで南アメリカ全域に分布する。パラグアイでは全域に分布し、牧草地、サバンナ、川沿いなど湿地帯や農耕地、公園などに見られ、大きな群れをつくることがある (A.G.P, 2005; Canevari ら, 1991; Elsam, 2006; Narosky・Yzurieta, 2006)。種実や小動物、昆虫などを摂食する (Elsam, 2006)。

イチゴ生産農家からは果実の摂食加害を聞き取りした。

4) コウカンチョウ *Paroaria coronata*

スズメ目 (Passeriformes), ホオジロ科 (Emberizidae) に属する体長17-19cmの中小型鳥。スペイン語では Cardenal, グアラニー語では Guya tiri と呼ばれる。英名は Red-crested Cardinal である (A.G.P, 2005)。

ブラジル、ボリビア、パラグアイ、ウルグアイ、アルゼンチンに分布する。パラグアイでは全域に分布し、乾生灌木林、ヤシ林、集落および農耕地などで単独、つがいで見られ、小さな群れをつくることがある (A.G.P, 2005; Canevari ら, 1991; Elsam, 2006; Narosky・Yzurieta, 2006)。種実、発芽した芽、果実などを摂食する (Elsam, 2006)。

イチゴ農家の調査では果実摂食を聞き取りした。

5) クロガミインコ *Nandayus nenday*

オウム目 (Psittaciformes), インコ科 (Psittacidae) に属する体長30-32cmの中型鳥。スペイン語では Ñanday, グアラニー語では Ñanday と呼ばれる。英名は Black-hooded parakeet, Nanday parakeet である (A.G.P, 2005)。

ブラジル, ボリビア, パラグアイ, アルゼンチンに分布する。パラグアイでは全域に分布し, ヤシ林, 乾性灌木, 小灌木の茂み, 雑木林, 集落および農耕地などに見られ, 群れをなすことがある (A.G.P, 2005; Canevari ら, 1991; Elsam, 2006; Narosky・Yzurieta, 2006)。種実, 花, 葉, 発芽した芽, 果実などを摂食する (Elsam, 2006)。

イチゴ農家の調査では果実摂食を聞き取りした。

6) ハシブトルリハシインコ *Forpus xanthopterygius*

オウム目 (Psittaciformes), インコ科 (Psittacidae) に属する体長11cmの小型鳥。スペイン語では Viudita, Catita viuda, グアラニー語では Mbembei と呼ばれる。英名は Blue winged parrotlet (green rumped parrotlet) である (A.G.P, 2005)。

ブラジル, ボリビア, パラグアイ, アルゼンチンに分布する。パラグアイでは東部地域の湿润灌木林の縁, 雑木林, 暴風林, 集落および農耕地などに見られる (A.G.P, 2005; Canevari ら, 1991; Narosky・Yzurieta, 2006)。

2009年に農業普及局の圃場でプロッコリーの葉の加害を目視した。イチゴ生産農家からは果実の摂食加害を聞き取りした。

7) オキナインコ *Myiopsitta monachus*

オウム目 (Psittaciformes), インコ科 (Psittacidae) に属する体長27cmの中型鳥。スペイン語では Cotorrita, グアラニー語では Tui' karanda'y, Nanda'y と呼ばれる。英名は Monk parakeet である (A.G.P, 2005)。

ブラジル, パラグアイ, ウルグアイ, アルゼンチンに分布する。パラグアイでは全域に分布し, ヤシ林, 雑木林, 都市近郊, 農耕地などでつがいで見られ, 群れをつくることもある (A.G.P, 2005; Canevari ら, 1991; Elsam, 2006; Narosky・Yzurieta, 2006)。果実, 種実, 葉などを摂食する (Elsam, 2006)。

イチゴ農家の調査では果実摂食を聞き取りした。

考 察

パラグアイの野菜を加害する野鳥4種を確認し, また農家聞き取りでは7種が加害鳥とされた。4種の加害鳥については, 今回加害を確認することができたが, 農家聞き取りの7種については未確認である。また今回未確認のキバラオオタイランチョウ (*Pitangus sulphuratus*), ハシブトルリハシインコ (*Forpus xanthopterygius*) は2009年に農業普及局の圃場で加害を目視しているが, 証拠となる写真撮影がないことから未確認とした。この7種は未確認の加害鳥として, 再度調査することが必要である。

今回の調査からパラグアイの野菜を加害する野鳥は数種にのぼることが明らかにされた。いずれも冬期に野菜を加害するものと思われるが, 夏期のウリ類の葉や果実を加害するのと同じの種であるかは不明である。今回の調査が冬期であることから, 冬期における加害鳥とすべきである。しかし今回加害を確認した4種はパラグアイの留鳥であり, 野生の採餌植物の減少次第

では夏期に野菜を加害することも考えられる。

加害鳥が数種に上ることは防止対策も煩雑になる。しかし今回の加害鳥は中型種が多く、習性が近似することから、個別に対策する必要はないと思われる。野鳥による被害の的確な防除対策がないなかでは、個々の加害鳥の生態など基礎的な調査研究が重要である。パラグアイにおける野鳥による野菜加害の研究も緒についた段階である。今後、野鳥の生態など基礎的な調査研究を踏まえ、防止対策を構築することが必要である。

謝 辞

野鳥の種名はパラグアイ自然史博物館の Luis Alberto Amarilla 氏に同定していただいた。なお本調査は JICA ボランティア活動の一環として行ったものである。関係者に対し厚く感謝の意を表す。

Resumen

De acuerdo con la investigación y observación realizada en el año 2010 los daños causados a las hortalizas son provocados por las especies *Saltator coerulescens*, *Thraupis sayaca*, *Turdus amaurochalinus* y *Turdus rufiventris*.

Por otro lado y según informaciones suministradas por productores de frutilla, también las especies *Pitangus sulphuratus*,

Mimus saturninus, *Molothrus bonariensis*, *Paroaria coronata*, *Nandayus nenday*, *Forpus xanthopterygius*, *Myiopsitta monachus*, causan daños.

引用文献

- Asociación Guyra Paraguay 2005. Atlas de las Aves del Paraguay. Asunción. Paraguay.
- Canevari, M., P. Canevari, G. R. Carrizo, G. Harris, J. R. Mata and R. J. Stranck 1991. Nueva guía de las aves Argentinas. Tomo II. Fundación Acindar. Buenos Aires. Argentina.
- Elsam, R. 2006. Guía de Aves del Chaco húmedo. Richard Elsam y Juana De Egea Juvinel. Asunción. Paraguay.
- 外間数男・フアナ カバゼーロ・グラシエラ エステイガリビア・エンリケ ゴンザレス 2009. パラグアイにおける野鳥による野菜被害. 1. 被害の様相. 沖縄農業 43: 67-78.
- 外間数男・フアナ カバゼーロ・グラシエラ エステイガリビア・エンリケ ゴンザレス 2010. パラグアイにおける野鳥による野菜被害. 2. 被害株の圃場内分布. 沖縄農業 44: 103-109.
- Narosky, T. and D. Yzurieta 2006. Aves de Paraguay. Vazquez Mazzini Editores. Buenos Aires. Argentina.